

熊野前駅周辺地区バリアフリー基本構想 第1回策定協議会

議 事 要 旨

日時：平成25年 8月 9日(金) 14:00～16:00

場所：荒川区防災センター 4階研修室

出席者：5頁参照

議事次第：

- 1 開会
- 2 本協議会の設置およびこれまでの経過について
- 3 熊野前駅周辺地区の現況・課題について
 - ①地区の現況について
 - ②地区住民アンケート結果について
 - ③生活関連施設・生活関連経路の考え方について
 - ④第1回住民部会(ワークショップ)の結果について
 - ⑤地区の課題について
 - ⑥バリアフリー化の整備方針について
- 4 その他

配布資料：

- ・次第
- ・資料
 - 資料1 熊野前駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会設置要綱
 - 資料2 基本構想策定体制及び分科会の設置について
 - 資料3 これまでの取組み状況について
 - 資料4 今年度策定スケジュールについて
 - 資料5 熊野前駅周辺地区の現況
 - 資料6 地区住民アンケート調査結果
 - 資料7 生活関連施設・生活関連経路の考え方について
 - 資料8 第1回住民部会ワークショップ結果
 - 資料9 熊野前駅周辺地区の課題について
 - 資料10 熊野前駅周辺地区のバリアフリー化の整備方針について
- 参考資料1 平成21年度策定 荒川区バリアフリー基本構想概要版
- 参考資料2 平成22年度策定 町屋駅・区役所周辺地区バリアフリー基本構想概要版

- 参考資料3 平成23年度策定 日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区バリアフリー基本構想概要版
- 参考資料4 平成24年度策定 南千住駅周辺地区バリアフリー基本構想概要版
- 参考資料5 荒川区・バリアフリーの取組

【議事要旨】

1 開会

- ・荒川区三ツ木副区長挨拶
- ・事務局より配布資料の確認
- ・会長、副会長の選任

⇒会長に日本大学理工学部交通システム工学科の藤井教授、副会長に首都大学東京健康福祉学部作業療法学科の橋本准教授を選出

- ・会長、副会長の紹介・挨拶

2 本協議会の設置およびこれまでの経過について

- ・事務局より「資料1～4、参考資料5」を用いてこれまでの経過について説明

(協議会に先立ち、住民部会を開催したことについて了承)

3 熊野前駅周辺地区の現況・課題について

- ・事務局より「資料5～10」を用いて地区の現況・課題について説明

<委員>

- ・住民部会で現地を点検して、歩道の横断勾配がきつい箇所が多くあるため、対策を検討する必要がある。
- ・都電等の乗り物の中で、車いすやベビーカーなどが自分の立場で主張していることが多いが、今後は、それぞれの立場を思いやる心が必要と感じている。そのような事が心のバリアフリーにもつながると考える。また、そのような活動は自分たちが主体でやっていく必要があると感じている。基本構想の中に、そのような内容が反映されると良いと思う。

→<事務局>

- ・歩道の勾配については基準に基づく整備が必要であるが、車両の乗り入れ部などで整備が困難な箇所があるが、解決に向けて、都、区と協議していくことが必要と考えている。
- ・各立場の対立する問題については、互いに着地点を見つけるための場を設置することが重要と考えている。そのため、10月頃に予定している第2回住民部会では、国のバリアフリー教室と連携して、各立場の状況を理解し合う場を設けていきたいと考えている。
- ・また、昨年度の住民部会でチラシを作成する中で住民活動への意欲が見えてきたので、それを継続した取組につなげたいと考えている。

→<会長>

- ・多様な立場が対立する場面は多く、港区ではエレベーターで、車いすとベビーカーのどちらが優先かが問題となっている。

- ・また、生活習慣の異なる外国人と一緒に行動する際の言葉のバリアをどうするかといった問題が生じており、気づかないバリアが相当あることが明らかとなっている。そのような問題に対して荒川区では「気づき」の部分を重視しており、住民部会を通じてそれぞれの立場の具体的な問題点を共通認識することから始める必要がある。
- ・密集市街地を抱えインフラ整備が困難な荒川では、心のバリアフリーを先行的に築き上げていく必要がある。そのため、住民部会で出てきた問題点を広く情報提供していくことを事務局に願います。

<副会長>

- ・第2回の住民部会では、バリアフリー教室を企画している。初めての試みであり、地区住民の協力が必要である。
- ・これまでの取組の成果を生かし、今年度は心のバリアフリーを特に重点的に進める地区と位置づけているので協力をお願いしたい。

5 その他

- ・事務局より今後の日程について連絡（事業者部会 9月上旬、第2回住民部会 10月、第2回協議会 11月）

<委員>

- ・これまでの地区ではパブコメの意見が少ない。積極的に意見を出してほしい。

→<会長>

- ・他地区のバリアフリー基本構想においてもパブコメの意見が少ない地区は多いが、意見が少ないから悪いのではなく、どのように計画を活用していくかが重要である。
- ・バリアフリー化の取組においてはP D C Aに基づく継続的な改善が必要である。その中でも整備の効果が利用者に実感できるかが重要である。個人的には、住民部会は計画づくりで終わるのではなく、多様な立場で改善を考える会として継続していくのが望ましいと考えている。
- ・市原市では、設計時や整備後に住民部会が参画する取組を行っている。
- ・改善の仕組みについては、白書作成、住民へのプレゼン、進捗管理協議会など様々な方法が考えられるので、荒川区にあった仕組みを検討してほしい。

以 上

熊野前駅周辺地区バリアフリー基本構想

第1回策定協議会 出欠状況一覧

委員名簿			出欠	
学識経験者		日本大学 理工学部 交通システム工学科 教授	藤 井 敬 宏	○
		首都大学東京 健康福祉学部 作業療法学科 准教授	橋 本 美 芽	○
		首都大学東京 健康福祉学部 作業療法学科 助教	石 橋 裕	○
区民代表		荒川区身体障害者更生会 会長	後 藤 英 一	○
		荒川区聴覚障害者協会 会長	大 石 泰 延	代
		荒川区視力障害者福祉協会 会長	野 田 和 義	○
		荒川のぞみの会 会長	大 沼 弘 子	○
		NPO 法人 荒川区高齢者クラブ連合会 副理事長	長谷川 敏 男	○
		尾久東部町会連合会 会長	関 根 要 一	欠
		尾久西部町会連合会 会長	斉 賀 靖 佳	代
		荒川区子育て支援モニター	佐々木 絵 里	○
		荒川やさしい街づくりの会 代表	後 藤 俊 子	欠
	当事者相談員 ピアカウンセラー	高 見 和 幸	○	
関係行政機関	国	国土交通省 関東運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課長	池 田 敏 之	○
	東京都	東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課長	池 内 光 介	欠
交通事業者	鉄道	東京都 交通局 建設工務部 計画改良課長	谷 内 雅 之	代
	バス	東京都 交通局 自動車部 事業改善担当課長	眞 子 武 久	代
		京成バス(株) 営業部 乗合営業課長	坂 本 幸 裕	代
施設管理者 道路・公園等	東京都	東京都 建設局 第六建設事務所 補修課長	上 本 竜 太 郎	○
	荒川区	防災都市づくり部 施設管理課長	大 木 浩	○
		防災都市づくり部 道路公園課長	川 原 宏 一	代
交通管理者	警視庁	尾久警察署 交通課長	渡 辺 誠	○

委員名簿			出欠	
執行機関	荒川区	副区長	三ツ木 晴 雄	○
		総務企画部長	北 川 嘉 昭	代
		福祉部長	谷 嶋 弘	代
		防災都市づくり部長	斉 藤 秀 喜	欠
		防災都市づくり部参事 都市計画課長事務取扱	松 土 民 雄	○
事務局	荒川区	防災都市づくり部 交通対策課長	平 野 興 一	○
		防災都市づくり部 交通対策課 交通計画係長	白 井 巧	○
		防災都市づくり部 交通対策課 交通計画係	長 野 博 一	○
		防災都市づくり部 交通対策課 交通計画係	柳 沢 泰 隆	○